

平成26年度国立大学法人琉球大学入札監視委員会定例会議議事概要

|                            |   |  |
|----------------------------|---|--|
| 開催日時及び場所                   | 平成26年11月10日(月) 9:30～<br>国立大学法人琉球大学本部管理棟2階 第二会議室                           |  |
| 委員                         | 委員長 仲地 健(沖縄国際大学産業情報学部 教授)<br>委員 鈴木 啓子(鈴木啓子税理士事務所)<br>委員 田里 友治(田里公認会計士事務所) |  |
| 審議対象期間                     | 平成26年1月1日～平成26年9月30日  |  |
| 抽出案件(合計)                   | 9 件   | <p>(備考)<br/>国立大学法人琉球大学入札監視委員会設置要項にのっとり、互選により仲地委員が委員長に選出された。</p> <p>抽出案件の個別審議については、【審議資料】に基づき、各発注担当課長から工事概要説明を行い、施設総務係長より契約手続概要説明を行い、質問等への回答を行った。</p> |
| 工事(小計)                     | 9 件   |  |
| 一般競争入札<br>(政府調達に関する協定対象工事) | 1 件   |  |
| 一般競争入札<br>(上記工事を除く)        | 8 件   |  |
| 工事希望型競争入札                  | 0 件   |  |
| 通常指名競争入札                   | 0 件   |  |
| 随意契約                       | 0 件   |  |
| 設計・コンサルティング業務              | 0 件   |  |
| 委員からの意見・質問、<br>それに対する回答等   | 意見・質問   | 回答   |
|                            | 別紙のとおり  | 別紙のとおり   |
| 委員会による意見の具申<br>又は勧告の内容     | なし  |  |

| 質 問  | 回 答  |
|--|--|
| <p><b>1. 建設工事に関する入札・契約手続の運用状況等の報告について【報告事項】</b><br/>(事務局より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul> <p><b>2. 設計・コンサルティング業務に関する入札・契約手続の運用状況等の報告について【報告事項】</b><br/>(事務局より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設計業務コンサルティング業務は実績なしとなっているが、稀にしか契約しないものなのですか。</li> </ul> <p><b>3. 指名停止等の措置状況について【報告事項】</b><br/>(事務局より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul> <p><b>4. 建設工事における抽出案件の審議</b><br/>【(上原)基幹・環境整備(特高受変電設備等)工事】<br/>(事務局より概要説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・低入札価格調査についての概要をお聞かせ下さい。</li> <li>・入札業者まで出向いてヒアリングするのですか。</li> </ul> <p>【(千原他)教育学部本館棟多目的室等改修工事】<br/>(事務局より概要説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入札結果において3社辞退しているが、原因はどう考えられていますか。</li> <li>・予定価格を算出する場合、事前に入札参加業者から見積を取ったから、落札率99.59%になったのか。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・予定価格が100万円を超える設計業務については、プロポーザル方式で業者と契約しますが、今回は対象業務はありません。</li> <li>・低入札価格調査表の各項目に基づき調査しており、この価格で入札できた理由、近隣の手持ち工事の状況や資材業者との関係等の記載内容と、当該入札者の、経営状況等も調査して問題なしと判断して契約しています。</li> <li>・低入札価格調査業者から、提出された調査表にて判断しています。</li> <li>・辞退した業者に聞き取り調査をした所、消費税駆け込み需要に伴い、施工する職人がいないという状況であった為、辞退したという回答でした。</li> <li>・この工事においては、内装改修工事のため物価版による積上げと、物価版等に掲載のない工種は専門メーカーから見積を聴取し、積算指針による経費を掛けて算出しています。</li> </ul> |

| 質 問   | 回 答  |
|---|--|
| <p>・契約した業者は、琉球大学とはよく契約しているのですか。</p> <p>・99%というのは、かなり予定価格と近似しているが、予定価格の情報が業者に伝わっているということはないですか。</p> <p>【(千原)防災物資倉庫等新営工事】<br/>(事務局より概要説明)</p> <p>・この案件も落札率が高いのですが、工事の性格上やむを得ないのですか。</p> <p>・総合評価方式簡易型【拡大】について、簡単に説明して下さい。</p> <p>・評価表によると全社とも評価点は同点だったということですね。</p> <p>【体育館照明設備改修工事】<br/>(事務局より概要説明)</p> <p>・落札率が非常に低いですが、予定価格の設定は特に問題なかったと判断してよいか。</p> <p>・それでも予定価格の約半分の金額というのはいくら安価ですね。</p> | <p>・入札にはよく参加していますが、契約まで至る率は少ないです。</p> <p>・予定価格が漏洩しているということはありません。たまたま入札価格が本学の予定価格に近い金額だったと思われます。</p> <p>・消費税増税前の駆け込み需要により、職人が不足し労務費が高騰したため、落札率が高くなったものと思われます。</p> <p>・文部科学省の方から、単なる価格競争では無く、総合評価落札方式の積極的な採用が求められ、簡易型とか標準型とか工事内容及び金額を加味して実績を増やすようにしています。簡易型(拡大)については、総合評価方式では業者及び本学の事務手続きも一番簡略な方式です。評価の内容としては施工計画を委員会で評価して、業者の施工能力、指名停止が無いとか、事務的に評価して評価点を算出しています。</p> <p>・はい、簡易型(拡大)については、施工計画の評価では、適切か不適切(欠格)かの評価になっており、欠格になるほど劣悪な施工計画を提出している業者はいないので、同点になるケースが多いです。その他、参加業者の経験及び工事成績等で配点に基づき評価するので、差がでることはあります。</p> <p>・入札参加業者3社のうち2社は予定価格をこえていることもあり、受注者の営業努力により、この価格で応札できたと思います。</p> <p>・この工事は照明設備(水銀灯)の取替え工事のため、工事費のほとんどが水銀灯の材料費となっています。低入札調査の概要でも記載がありますが、大量購入することにより低価格購入が可能となったため安価となっています。</p> |

| 質 問   | 回 答   |
|---|---|
| <p>・2社が辞退しているが理由は何ですか。</p> <p>・工事は、終わりましたか。不具合とか無いですか。</p> <p>・この業者は、資材を安く調達できたからと説明があったのですが、他の業者はできなかったのですか。</p> <p>【(医病)救急部増築工事について】<br/>(事務局より概要説明)</p> <p>・参加資格審査で2者が参加資格無しとなっていますが何故ですか。</p> <p>・評価項目で工事实績があるかないかで評価しているが、新規参入の業者は不利ではないか。</p> | <p>・先程の案件と同様、消費税増税に伴う、職人不足によるものだと考えられます。</p> <p>・工事は完了しています。また、この工事の施工成績は良好でした。</p> <p>・その時期に受注者は、他の契約している同種工事と合わせて大量発注できたから資材メーカーからの価格協力が得られたものと思われます。</p> <p>・参加資格要件である病院の新営又は改修工事の実績がなかったからです。</p> <p>・今の制度では適正な品質管理を行うため実績を評価することとなっています。</p> |
| <p>【(千原他)外灯設備改修工事】<br/>(事務局より概要説明)</p> <p>・先程、体育館照明設備改修工事で低入札価格で受注した業者も入札参加されているのだが、この時は安値では入札していないですね。</p> <p>・最安値から最高値まで入札金額に差が1千万以上あるのは何故か。</p>  | <p>・先程は体育館の照明設備の取替え工事だったのですが、本工事は外灯の更新と言うことで、工事費には土木工事(基礎等)も含まれており、また、資材もLED照明ということで状況が違ったからだと思われます。</p> <p>・各社のその時期の受注状況や近隣における同種工事の契約状況及び営業戦略等による差と考えられます。</p>  |
| <p>【(千原他)農学部校舎講義室等空調設備改修工事】(事務局より概要説明)</p> <p>・落札率が7割を切っており、4社が最低基準価格を下回っているが、何故このような結果となったと思われますか。</p> <p>・落札率が低いのは大体こういうパターンなんですかね。</p>   | <p>・空調機取替という単独工事のため、比較的施工しやすい。県内の空調機対応年数が短いため、各官公庁で同様な入札があり、大量購入ができ、入札価格を低く設定できると推測されます。</p> <p>・内訳の材料費が大部分を占めている工事は落札率が低くなる傾向があります。</p>  |
| <p>【(前田)職員宿舎給水設備改修工事】<br/>(事務局より概要説明)</p> <p>・低入札価格調査中に辞退して、指名停止措置を行ったと説明があったが、2回目以降の入札は同じ日に行ったのか。</p>  | <p>・最安値業者(指名停止措置業者)とヒアリングを行い、正式に辞退届が提出されてから2回目以降の開札を行っています。</p>   |

| 質 問  | 回 答  |
|--|--|
| <p>・入札4回目まで常に1位と2位の金額の入れ替わりがないのですが、お互いで調整はしていないか。</p> <p>【(学生)学生寄宿舍C棟他改修電気設備工事(Ⅱ期)】<br/>(事務局より概要説明)</p> <p>・本件は最低基準価格は設定していないのか。</p> <p>【その他】</p> <p>・年間を通して、工事予定を公表しているのか。</p> <p>・入札はすべて電子システムで行うと、業者とは殆ど顔を合わせないのか。工事の説明、質問等はどのように対応しているのか。</p> <p>入札スケジュールに苦情申し立て期間等が記載されているが、過去に苦情申し立てがありましたか。</p> | <p>・本学は、それを防止するため全ての入札において電子入札システムで行っているためどの業者が参加しているか分からないようになっていきます。</p> <p>・本学の規程により予定価格が1千万円以上の場合に、最低基準価格を設定しています。</p> <p>・入札契約適正化法に基づき、発注見通しを、本学ホームページや建設新聞等にて公表しています。</p> <p>・電子入札システム(紙申請業者を除く。)では業者と顔をあわせることはありません。工事内容は工事概要書や図面で判断し、質問がある場合は質問書が提出され、回答をホームページで公表しています。</p> <p>・ここ4年間では、苦情申し立てはありません。</p> |